



GVT-226054-001-00 1.0

# QX-W610 アクセスポイント Web コンソール操作マニュアル

改版履歴

版数	日付	改版内容
1.0	2024/3	初版発行

## **All Rights Reserved**

事前に NEC の書面による許可なく、本マニュアルをいかなる形式または方法で複製または配布することを禁止します。

## **商標**

本マニュアルに記載されているその他の商標は、各社が保有します。

## **注意**

- 本装置は QX-W610 アクセスポイント コマンドマニュアルに記載されているコマンドのみ使用することができます。QX-W610 アクセスポイント コマンドマニュアルに記載されていないコマンドを使用した場合の動作については保証しません。
- 本マニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。本マニュアルのすべての記述、情報、および推奨事項は、明示的か暗黙的にかかわらず、いかなる種類の保証の対象になりません。

# 本マニュアルについて

## バージョン

本マニュアルに対応する製品バージョンは Version 7.5.105 を含む以降のソフトウェアです。

## 関連マニュアル

QX-W610 アクセスポイントについての詳細な説明は、次のマニュアルにあります。

マニュアル	内容
QX-W610 アクセスポイント インストールマニュアル	システムのインストールについて説明しています。
QX-W610 アクセスポイント オペレーションマニュアル	機能の設定について説明しています。
QX-W610 アクセスポイント コマンドマニュアル	機能に関するコマンドについて説明しています。
QX-W610 アクセスポイント Web コンソール操作マニュアル	Web コンソールからの装置設定、状態確認等についての操作を記述しています。

## マニュアルの構成

このオペレーションマニュアルは以下のセクションで構成されます。

- **1 章 Web コンソール機能の概要**

Web コンソールの機能概要、特長が記載されています。

- **2 章 Web コンソールへの接続**

ログイン画面、ログイン名、パスワードの入力方法について記載しています。

- **3 章 ダッシュボードメニュー**

ログイン後に表示される画面（ダッシュボード画面）について記載しています。

- **4 章 クイックスタートメニュー**

- AP の設定、表示手順について記載しています。

- **5 章 ワイヤレス構成メニュー**

AP 管理について記載しています。

- **6 章 ネットワーク構成メニュー**

インタフェースの設定、VLAN ルーティングの設定、表示手順について記載しています。

- **7 章 システムメニュー**

システムログ、ファイルの管理、ユーザ設定、装置管理の設定、表示手順について記載しています。

- **8 章 ツールメニュー**

診断情報の設定、表示手順について記載しています。

## 表記規則

本マニュアルでは、次の表記規則を使用しています。

### I. コマンド表記規則

表記規則	説明
<b>太字体</b>	コマンドラインを示すキーワードには <b>太字体</b> を使用します。
<i>イタリック体</i>	コマンドの引数は <i>イタリック体</i> を使用します。
[ ]	大カッコに囲まれた項目(キーワード、引数)はオプションです。
{x y ...}	選択する項目は、中カッコに入れて縦線で区切ってあります。1つを選択します。
[x y ...]	オプションの選択項目は、大カッコに入れて縦線で区切ってあります。1つまたは複数を選択します。
{x y ...}*	選択する項目は、中カッコに入れて縦線で区切ってあります。少なくとも1つ選択できます。
[x y ...]*	オプションの選択項目は、大カッコに入れて、縦線で区切ってあります。1つあるいは複数選択することも、何も選択しないこともできます。
&<1-n>	&の前のキーワードと引数を組み合わせます。引数で指定した数までキーワードを繰り返し指定できます。
#	#で始まる行はコメントを示します。

### II. GUI 表記規則

表記規則	説明
<>	ボタン名は三角カッコに入っています。例えば、<OK>ボタンをクリックします。
[ ]	ウィンドウ名、メニュー項目、データ表、およびフィールド名は大カッコに入っています。例えば、[New User]ウィンドウが表示されます。
/	複数レベルのメニューはスラッシュで区切ってあります。例えば、[File/Create/Folder]。






### III. キーボード操作

表記規則	説明
<KEY>	KEYのキーを押します。例えば、<Enter>はEnterキーを押します。
<KEY1 + KEY2>	複数のキーを同時に押します。例えば、<Ctrl+Alt+A>は3つのキーを同時に押すことを表します。
<KEY1, KEY2>	複数のキーを順番に押します。例えば、<Alt, A>は2つのキーを順に押すことを表します。




### IV. マウス操作

表記規則	説明
クリック	マウスのボタンを素早く押します。特に指定がない場合は左ボタンを押します。
ダブルクリック	マウスの左ボタンを素早く2回押します。
ドラッグ	マウスの左ボタンを押したまま移動します。

### V. 記号

表記規則	説明
 警告	表示を無視したり指示に従わない場合、利用者が怪我などをする恐れのある重要な情報を示します。
 注意	表示を無視したり指示に従わない場合、データの損失や破損、ハードウェアやソフトウェアの損傷などが発生する恐れのある重要な情報を示します。
 重要	注意を払う必要がある情報を示します。
 メモ	追加または補足となる情報を示します。
 ポイント	参考となる情報を示します。

### VI. ネットワークアイコン

表記規則	説明
	ルータ、スイッチ、またはファイアウォールなどの一般的なネットワークデバイスを表しています。
	ルータまたはレイヤ3スイッチなどのルーティング対応のデバイスを表しています。
	レイヤ2、レイヤ3スイッチまたはレイヤ2転送機能に対応したルータなどの一般的なスイッチデバイスを表しています。

## **VII. 設定例**

本マニュアルの設定例は各機能での代表的な設定例を示します。インタフェース番号、システム名の表記、display コマンドで表示される情報は、ご使用の装置と異なることがあります。

## **VIII. セキュリティ強化**

セキュリティ強化のため、simple で設定されたパスワードも cipher や hash で登録されます。

本マニュアルは以下に示す 8 個のセクションで構成されています。

01 - Web コンソール機能の概要

02 - Web コンソールへの接続

03 - ダッシュボードメニュー

04 - クイックスタートメニュー

05 - ワイヤレス構成メニュー

06 - ネットワーク構成メニュー

07 - システムメニュー

08 - ツールメニュー



# 目次

<b>1章 Webコンソール機能の概要 .....</b>	<b>1-1</b>
1.1 Webコンソールの説明 .....	1-1
1.2 Webコンソールの有効化 .....	1-1
1.2.1 コンソール接続 .....	1-1
1.2.2 LANケーブルの接続 .....	1-2
1.2.3 装置のアドレスの設定 .....	1-2
1.2.4 PCの設定 .....	1-2
1.2.5 HTTPSサービスの有効化 .....	1-6
1.2.6 Webコンソールユーザの作成 .....	1-6
1.3 端末動作環境 .....	1-7
1.3.1 ブラウザ .....	1-7

# 1章 Web コンソール機能の概要

## 1.1 Webコンソールの説明

Web コンソールは装置にローカルユーザ、IP アドレスを設定した後、CLI を使用せずに Web ブラウザから装置の設定をすることができます。

VLAN 作成、ポート状態の管理、コンフィグやソフトウェアのアップロードなどを GUI 操作で簡単にできます。



**注意：**

- Web コンソールを使用する前に、CLI でローカルユーザ、IP アドレスの設定を行う必要があります。
  - Web コンソール操作時に表示されるメッセージが、CLI 操作時と異なる場合があります。
  - Web コンソールを接続したまま、CLI 等で設定変更を行うと、Web コンソールの操作が正しく行えない場合や、操作上のメッセージが正しく表示されない場合があります。
  - Web コンソールで設定を変更する場合、現在の装置情報を確認のうえ、操作を行ってください。
  - QX-W610 アクセスポイントの Web コンソールは、コマンドマニュアルに記載してある機能のメニュー操作に対応しています。マニュアルに記載のない機能のメニューを操作したときの動作については保証できません。
- 

## 1.2 Webコンソールの有効化

QX-W610 では Web コンソール機能があります。使用する場合は、使用する前に、QX-W610 に CLI コンソールにおいて、Web コンソール機能の有効化と Web コンソールで設定変更ができる権限を持ったユーザを作成してください。

この章では、Web コンソール機能を使用するための設定について、説明します。

### 1.2.1 事前準備

該当の QX-W610 を v7.5.104 以降のバージョンにアップデートしてください。

### 1.2.2 コンソール接続

コンソールケーブルで PC のシリアルポートと装置のコンソールポートを接続し、装置にログインします。

### 1.2.3 LAN ケーブルの接続

Web コンソールによる操作を行うため、装置の LAN ポートと端末の LAN ポートを LAN ケーブル（ストレート）で接続します。接続する LAN ポートはどこでもかまいません。

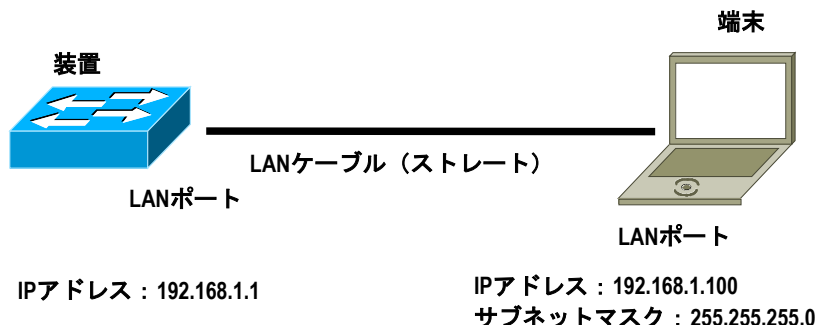


図 1-1 LAN ケーブルの接続

### 1.2.4 装置のアドレスの設定

# VLAN 1 を作成します。VLAN 1 に PC に接続されている GigabitEthernet 1/0/1 を追加します。

```
<AP> system-view
```

# VLAN インタフェース 1 に IP アドレス 192.168.1.1、サブネットマスク 255.255.255.0 を割り当てます。

```
[AP] interface vlan-interface 1
```

```
[AP-VLAN-interface1] ip address 192.168.1.1 255.255.255.0
```

```
[AP-VLAN-interface1] quit
```

### 1.2.5 PC の設定

PC にアドレスの設定を行います。コマンドプロンプトを起動します。PC から装置に対して ping を実行し、応答があることを確認します。

以下の手順では Windows 10 を使用しています。PC の環境により適切に通信確認を行ってください。

- 1) “スタート “→” コントロールパネル “→” すべてのコントロールパネル項目 “→” ネットワークと共有センター “を開きます。



図 1-2 ネットワークと共有センター

- 2) “アクティブなネットワークの表示” → “イーサネット” → “プロパティ” → “インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)” → “プロパティ” を選択します。PC の IP アドレス、サブネットマスクを設定します。装置と異なるネットワーク上にある場合、デフォルトゲートウェイを設定します。その場合、装置にも PC があるネットワークに到達するためのデフォルトゲートウェイが必要です。

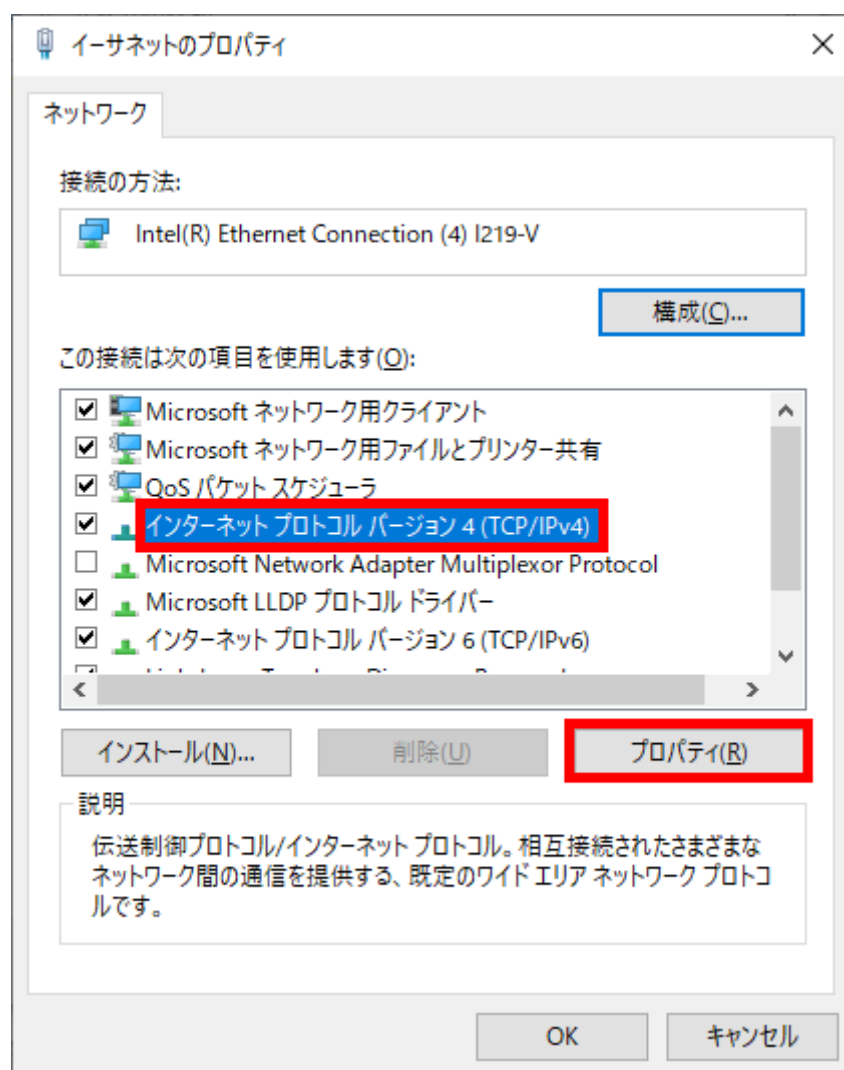


図 1-3 イーサネットのプロパティ

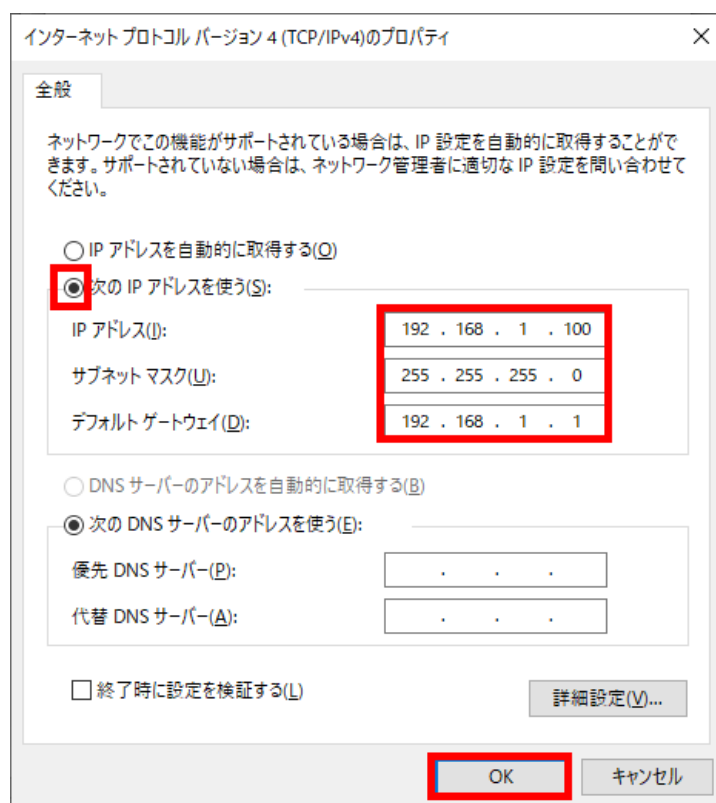


図 1-4 インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4）でのアドレスの設定

- 3) “スタート “→” Windows システムツール “→” コマンドプロンプト “の手順でコマンドプロンプトを起動します。PC のアドレスを確認するため、ipconfig を実行します。

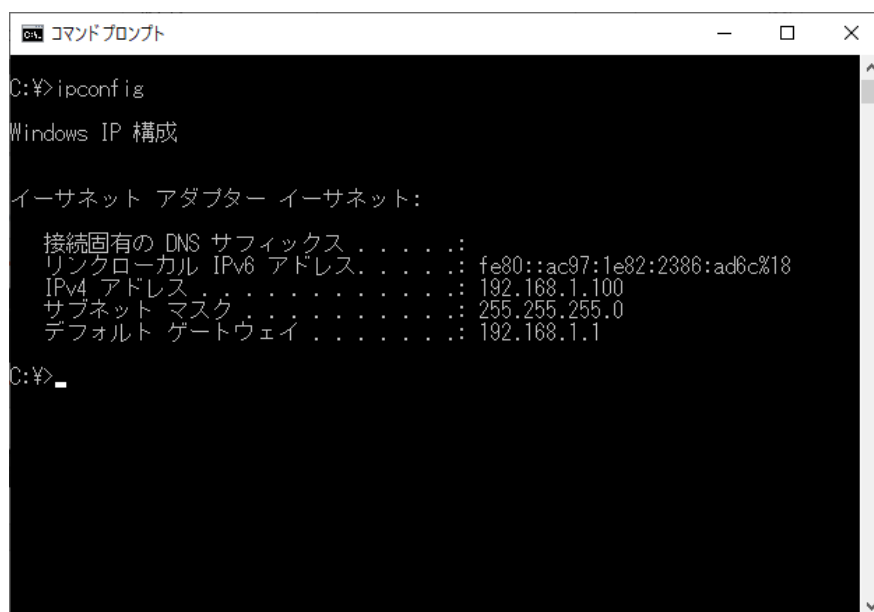


図 1-5 PC のアドレスの確認

4) PC から装置に ping を実行します。

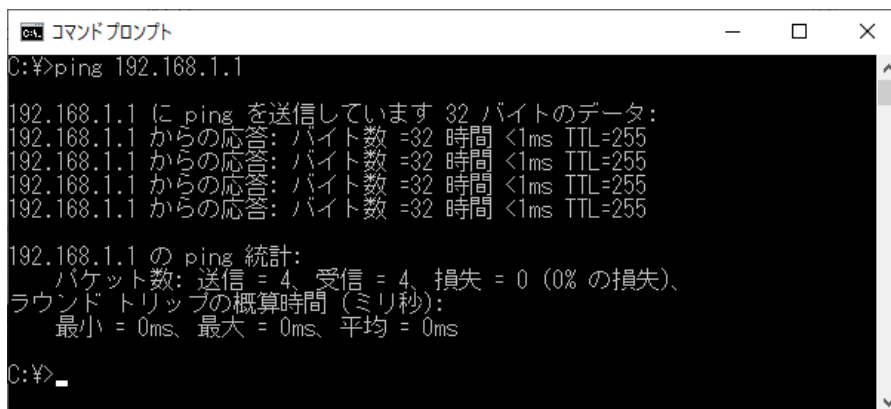


図 1-6 ping の実行

## 1.2.6 HTTPS サービスの有効化

Web コンソールに HTTPS で接続するために、HTTPS サービスを有効にします。

# HTTPS サービスを有効にします。

```
<AP>system-view
[AP] ip https enable
```

# 設定を確認します。

```
<AP>system-view
[AP]display ip https
HTTPS port: 443
SSL server policy : Not configured
Certificate access-control-policy : Not configured
ACL: 0
Operation status : Enabled
```

## 1.2.7 Web コンソールユーザの作成

装置で Web コンソールユーザを作成します。Web コンソールによるログイン設定の詳細は QX-W610 アクセスポイントオペレーションマニュアルのセクション 1 基本機能の“ログイン”の“Web コンソールによるログイン”を参照してください。

# 装置にローカルユーザ **web** を作成します。

```
<AP>system-view
[AP] local-user web
New local user added.
```

# サービスタイプ **https** を追加し、ユーザロールを **network-admin** に設定します。

```
[AP-luser-manage-web]service-type https
[AP-luser-manage-web]authorization-attribute user-role network-admin
```

#パスワードを **admin12345** に設定します。

```
[AP-luser-manage-web]password simple admin12345
```

# 設定を保存します。

```
[AP-luser-manage-web]save
```

```
The current configuration will be written to the device. Are you sure? [Y/N]:y  
Please input the file name(*.cfg) [flash:/startup.cfg]  
(To leave the existing filename unchanged, press the enter key):  
Validating file. Please wait...  
Configuration is saved to device successfully.
```

#### メモ：

パスワードは以下の要件を満たすパスワードを設定してください。

- 10文字以上。
- アルファベット、数字、記号のうち2種類以上を含む。
- ユーザ名またはユーザ名の逆の文字を含まない。

## 1.3 端末動作環境

### 1.3.1 ブラウザ

本装置の Web コンソールは以下のブラウザをサポートしています。

- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox 4.0 以降
- Google Chrome 10.0 以降



#### 注意：

- 本装置の Web コンソールは、ブラウザの“戻る”、“次へ”、“更新”などのボタンをサポートしていません。これらのボタンを使用すると、Web ページが表示されないなど、異常な状態になる可能性があります。
- システムが STP（Spanning Tree）のトポロジ計算をしている間は、web コンソールで装置にログインすることができません。
- Windows ファイアウォールが TCP 接続数を制限するため、IE（Internet Explorer）を使用して装置にログインする場合、Web コンソールに接続できない場合があります。接続できない場合は、ファイアウォールの設定を確認してください。
- Web コンソールで装置のソフトウェアバージョンを変更する場合、IE のキャッシュされたデータを削除するため、確認メッセージが表示される場合があります。



## 目次

<b>2章 Webコンソールへの接続</b> .....	<b>2-1</b>
2.1 Webコンソールへのログイン .....	2-1
2.2 画面の概要 .....	2-3
2.2.1 ユーザインフォメーション .....	2-4
2.2.2 設定メニュー .....	2-7
2.2.3 設定、情報画面 .....	2-7

## 2章 Web コンソールへの接続

### 2.1 Webコンソールへのログイン



**注意：**

端末の設定（PROXY サーバ、Firewall、セキュリティ）などにより、設定を変更しないと Web コンソールに接続できない場合があります。

- 1) PC 上のブラウザのアドレスバーに“https://装置の IP アドレス”を入力します。  
“https://192.168.1.1”を入力します。



このサイトは安全ではありません

だれかがユーザーを騙そうとしているか、サーバーに送信されたデータを盗み取ろうとしている可能性があります。このサイトをすぐに閉じてください。

[スタート ページに移動](#)

詳細

お使いの PC はこの Web サイトのセキュリティ証明書を信頼しません。  
Web サイトのセキュリティ証明書のホスト名が、参照しようとしている Web サイトと異なります。

エラー コード： DLG\_FLAGS\_INVALID\_CA  
DLG\_FLAGS\_SEC\_CERT\_CN\_INVALID

[Web ページへ移動 \(非推奨\)](#)

Microsoft Edge を使用してログインを行う場合は上記のような警告が表示される場合があります。

[スタートページに移動]、[Web ページへ移動]をクリックすることで、正常にログイン画面が表示されます。



**注意：**

ログイン画面は、https にリダイレクトされますが、装置内で生成した自己証明書を用いているため、証明書エラーが表示されます。  
強制的に表示をさせるように操作することでログイン画面が表示されます。

接続が完了するとログイン画面が表示されます。

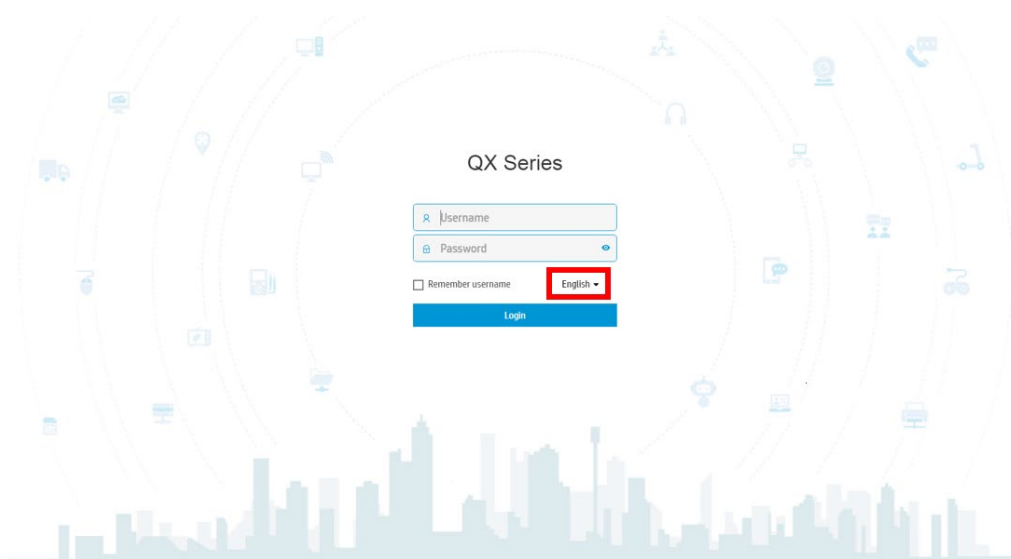
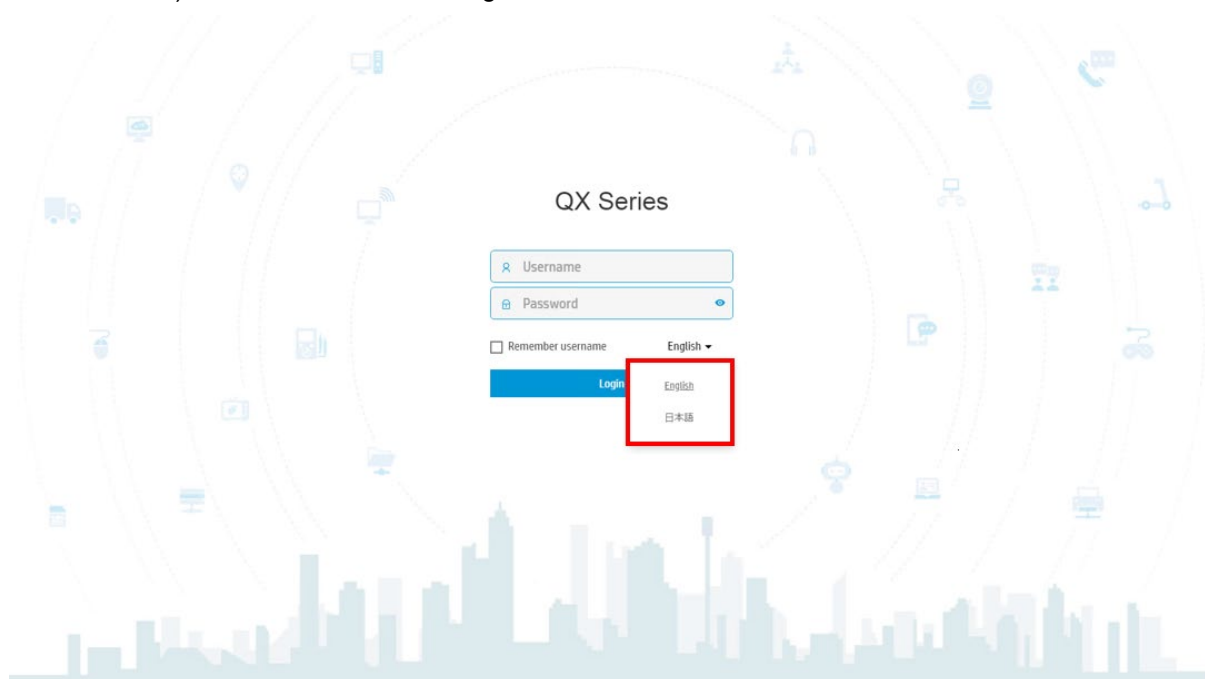


図 2-1 Web ログインページ

- 2) 図 2-1の①に示す“English”をクリックすると言語選択が可能です。



- 3) 図 2-2の日本語をクリックすると以降のWEB画面は日本語表示になります。言語選択はいつでも変更可能です。
- 4) ユーザ名 web、パスワード admin12345 を入力します。大文字、小文字を区別します。入力後、“ログイン”をクリックします。



図 2-2 ユーザ名、パスワードの入力

## 2.2 画面の概要

ログインすると以下のような画面を表示します。

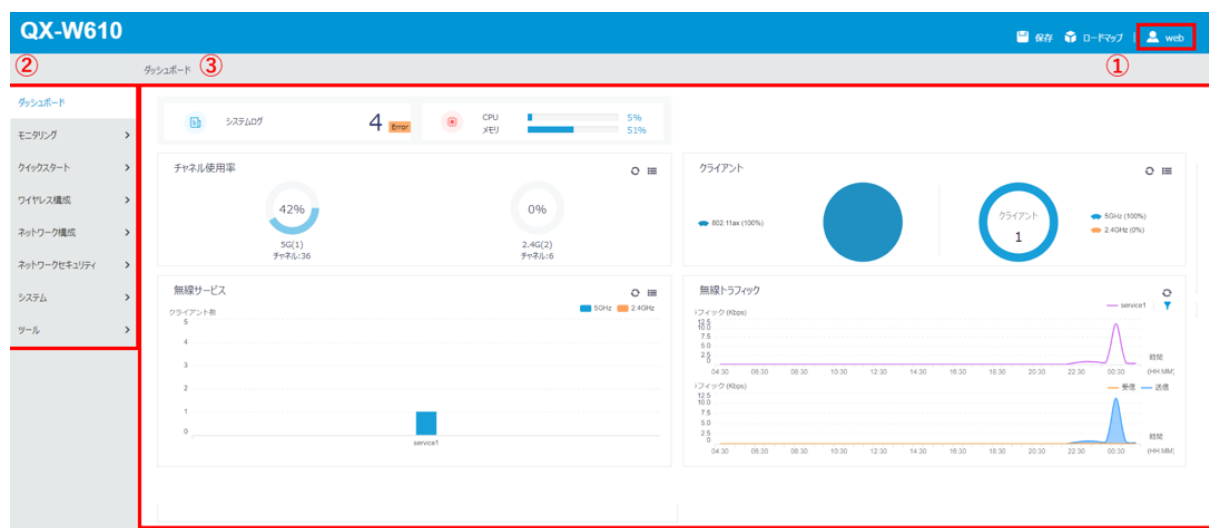


図 2-3 画面表示の概要

以下に画面上のアイコンの概要について記載します。詳細は後述の各章を参照してください。

## 2.2.1 ユーザインフォメーション


ログインしているユーザの情報を表示します。図 2-4の①に示す  web をクリックすると、図 2-5に示すようにユーザインフォメーションのポップアップ画面が表示されます。



図 2-4 ユーザインフォメーションのポップアップ画面

### I. 設定の保存

設定を保存します。“保存”をクリックすると、図 2-6に示すように現在の設定を保存するかどうかの確認ダイアログが表示されます。“はい”をクリックします。



図 2-5 保存確認画面

### II. ログアウト

Web コンソールからログアウトします。“ログアウト”をクリックすると、図 2-7に示すように現在の設定を保存するかどうかの確認ダイアログが表示されます。“はい”をクリックすると Web ブラウザ画面が終了します。



A blue header bar with the text "確認" (Confirmation) on the left and a close button "X" on the right. Below the header, the text "ログアウトしますか?" (Do you want to log out?) is displayed. At the bottom, there are two buttons: "はい" (Yes) and "いいえ" (No). The "はい" button is highlighted with a red border.

図 2-6 ログアウト確認画面

### III. パスワードの変更

パスワードを変更します。“パスワードの変更”をクリックすると、図 2-8に示すようにパスワード変更の確認ダイアログが表示されます。“新しいパスワードの入力”に新しいパスワードを入力します。“新しいパスワードの再入力”に再度新しいパスワードを入力します。“適用”をクリックすると、パスワードの変更が適用されます。



A blue header bar with the text "パスワードの変更" (Change Password) on the left and a close button "X" on the right. Below the header, there are two input fields. The first field is labeled "新しいパスワードの入力 \*" (New Password Input \*) and has a placeholder "(1-63 文字)" (1-63 characters). The second field is labeled "新しいパスワードの再入力 \*" (New Password Confirmation Input \*) and also has a placeholder "(1-63 文字)". At the bottom, there are two buttons: "適用" (Apply) and "キャンセル" (Cancel). The "適用" button is highlighted with a red border.

図 2-7 パスワードの変更画面

### IV. ロードマップ

“ロードマップ”をクリックすると、図 2-9に示すように設定、情報メニューの一覧を表示します。設定、情報メニューをクリックすると各設定、情報画面に移行し、画面中央に該当する内容を表示します。

## システム表示

### ダッシュボード

### モニタリング

クライアント	ワイヤレスネットワーク	ワイヤレスセキュリティ	アプリケーション
クライアント情報	ワイヤレスサービス	WIPS	Bonjour
カテゴリフレームにアクセスする	ワイヤレスサービスの統計情報		マルチキャストの最適化
アクセスカテゴリのバイト数			クライアントブローピング
合計フレーム数			
合計バイト数			

### クイックスタート

サービスの追加	Add User
---------	----------

### ワイヤレス構成

ワイヤレスサービス	APの管理	ワイヤレスQoS	無線管理	ワイヤレスセキュリティ
Wireless Services Configuration	Bind WLAN Service APのグローバル設定	クライアントレートの制限 帯域保証 Wi-Fiマルチメディア	無線の設定 バンドナビゲーション	WIPS ホワイトリストとブラックリスト

### アプリケーション

- メッシュサービス
- マルチキャストの最適化
- Bonjour
- クライアントブローピング

### ネットワーク構成

ネットワークインタフェース	リンク	ネットワークルーティング	IP	IPv6
インタフェース	VLAN	ルーティングテーブル	NAT	IPv6
PPPoE	MAC	スタックルーティング	IP	ND
	STP		ARP	IPv6 DNS
			IPv4 DNS	
マルチキャスト	マネージメントプロトコル			
IGMP Snooping	DHCP			
MLD Snooping	HTTP/HTTPS			
	Telnet			
	SSH			
	NTP			
	LLDP			

### ネットワークセキュリティ

トラフィックポリシー	アクセス制御	認証	AAA	ユーザ管理
パケットフィルタ	IPv4 ACL	MAC認証	ISPドメイン	ローカルユーザ
QoSポリシー	IPv6 ACL	802.1X	RADIUS	
優先度マッピング	レイヤ2 ACL	Portal ポートセキュリティ		

### システム

ログ	リソース	ファイルシステム	装置管理
イベントログ	時間範囲	ファイルシステム管理	管理者
設定			設定
			設定ファイル
			アップグレード
			再起動
			について

### ツール

- デバッグ
- 診断
- システムログ

図 2-8 ロードマップ画面

## 2.2.2 設定メニュー

図 2-4の②は設定、情報メニューです。文字をクリックすると設定、情報メニューのサブ設定、情報メニューを表示します。サブ設定メニューをクリックすると各設定、情報画面に移行し、画面中央に該当する内容を表示します。

## 2.2.3 設定、情報画面

図 2-4の③は設定、情報画面を表示します。図 2-4の例では設定、情報メニューは“ダッシュボード”です。概要情報が画面中央に表示されています。



## 目次

<b>3章 ダッシュボードメニュー .....</b>	<b>3-1</b>
3.1 システムログ .....	3-2
3.2 チャンネル使用率 .....	3-4
3.3 システム使用率 .....	3-4
3.4 クライアント .....	3-5
3.5 無線サービス .....	3-6

## 3章 ダッシュボードメニュー

図 3-1に示す “ダッシュボード” をクリックします。

図 3-2に示すようなダッシュボードメニューが表示されます。システムログ、チャネル使用率、無線サービス、システム使用率、クライアント、インタフェーストラフィックを表示します。



図 3-1 ダッシュボードメニューの選択

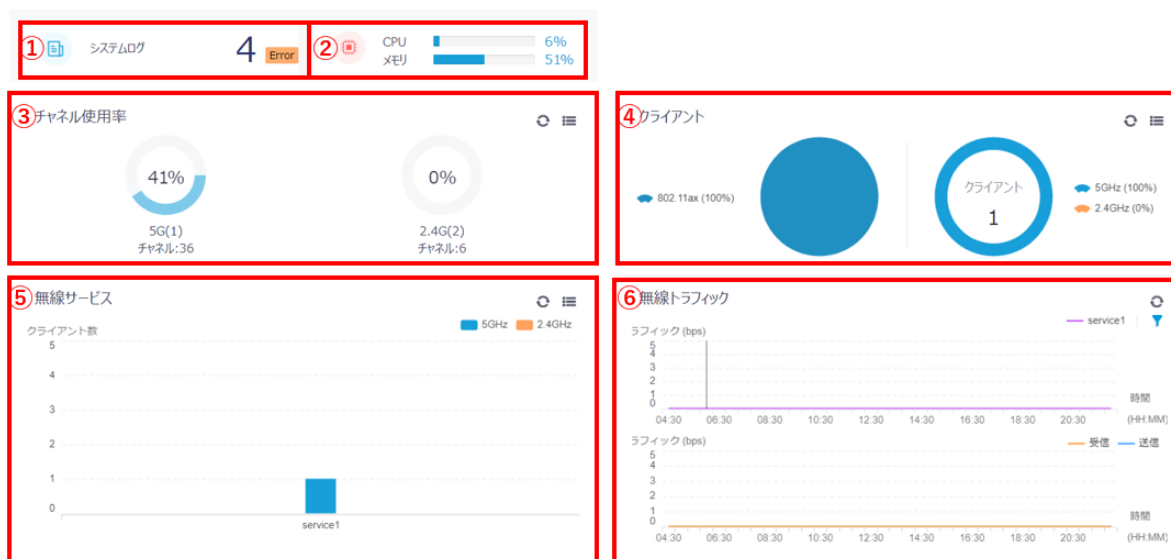


図 3-2 ダッシュボードメニュー

## 3.1 システムログ

図 3-2の①はシステムログです。

図 3-2の例では、重大レベルのログの数が表示されます。

“システムログ” をクリックすると、システムログを表示します。  
“ダッシュボード” をクリックするとダッシュボードメニューに戻ります。

ダッシュボード > システムログ

			統計	?
検索				
時間 ▲	レベル	説明	アクション	
2023-09...	● Informa...	System restarted -- NEC Comware Software.		
2023-09...	● Informa...	[APID:1,Radio:2] Channel was changed to 6.	***	
2023-09...	● Informa...	[APID:1,Radio:1] Channel was changed to 116.	***	
2023-09...	● Error	Physical state on the interface WLAN-Radio1/0/2 changed to up.	***	
2023-09...	● Error	Physical state on the interface WLAN-Radio1/0/1 changed to up.	***	
2023-09...	● Warning	-User=-IPAddr=; Command cwmp in view system failed to be matched.	***	
2023-09...	● Warning	-User=-IPAddr=; Command undo attack-defense tcp fragment enable in view sy...	***	
2023-09...	● Warning	-User=-IPAddr=; Command arp snooping enable in view system failed to be ma...	***	
2023-09...	● Warning	-User=-IPAddr=; Command undo info-center diagnostic-logfile enable in view li...	***	
2023-09...	● Warning	-User=-IPAddr=; Command undo info-center logfile enable in view line-console...	***	
2023-09...	● Notificat...	Line protocol state on the interface Vlan-interface1 changed to up.	***	
2023-09...	● Error	Physical state on the interface Vlan-interface1 changed to up.	***	
2023-09...	● Notificat...	Line protocol state on the interface GigabitEthernet1/0/1 changed to up.	***	

図 3-3 システムログ画面

ログは重要度レベルごとに区分されます。

- Notification (緊急レベル)
- Warning (警告レベル)
- Error (重大レベル)
- Informational (情報レベル)

“時間”、“レベル”、“説明”をクリックすることで項目ごとにソートすることができます。

🔄 をクリックすると、システムログの更新を行います。🗑️ をクリックするとすべてのシステムログを削除します。

システムログを検索することができます。検索したい文字列を“検索”に入力します。

🔍 をクリックすることで、システムログの高度な検索を行うことができます。“時間”、“レベル”、“説明”を入力、選択します。“検索”をクリックします。図 3-4にシステムログの高度な検索画面を表示します。

高度な検索

時間

レベル

説明

検索 リセット 閉じる

図 3-4 システムログの高度な検索

システムログの **\*\*\*** をクリックすると図 3-5に示すようなシステムログ詳細を表示します。

システムログ詳細

時間 2019-12-26 09:06:35

グループ SYSLOG

レベル 6

要約 SYSLOG\_RESTART

説明 System restarted -- NEC Comware Software.

適用

図 3-5 システムログの詳細

## 3.2 システム使用率

図 3-2の②はシステム使用率です。

“システム使用率”には、装置のリソース（CPU、メモリ）の使用状況が表示されます。

図 3-2の例では CPU 使用率 : 3%、メモリ使用率 : 50%であることを示します。

ダッシュボードメニューの“②”をクリックすると、図 3-6のようなシステム使用率画面を表示します。

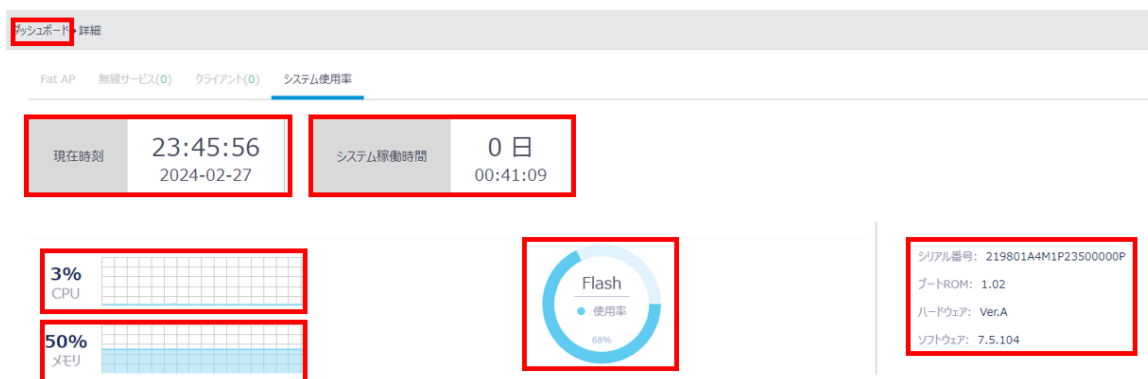


図 3-6 システム使用率画面

“ダッシュボード”をクリックするとダッシュボードメニューに戻ります。

画面上部に現在時刻、システム稼働時間が表示されます。

画面中央部左側に CPU 使用率、メモリ使用率が表示されます。

画面中央部にフラッシュメモリの使用率が表示されます。

画面右側に装置の情報が表示されます。

- シリアル番号
- ブートROMバージョン
- 装置のハードウェアバージョン
- システムソフトウェアバージョン

### 3.3 チャネル使用率

図 3-2の③はチャネル使用率です。

“チャネル使用率”には、使用中のチャネル情報が表示されます。

### 3.4 クライアント

図 3-2の④はクライアントです。

“クライアント”には、接続したクライアント数が表示されます。

## 3.5 無線サービス

図 3-2の⑤は無線サービスです。

図 3-2に示すダッシュボードメニューの“無線サービス”には、無線、SSID の状態が表示されます。

## 3.6 無線トラフィック

図 3-2の⑥は無線トラフィックです。

図 3-2に示すダッシュボードメニューの“無線トラフィック”には、無線のトラフィックの状態が表示されます。

## 目次

<b>4章 クイックスタートメニュー .....</b>	<b>4-1</b>
4.1 SSIDの設定 .....	4-1



## 4章 クイックスタートメニュー

図 4-1に示す設定メニューで“クイックスタート”をクリックします。図 4-2に示すようなクイックスタートサブメニューが表示されます。



図 4-1 クイックスタートメニューの選択

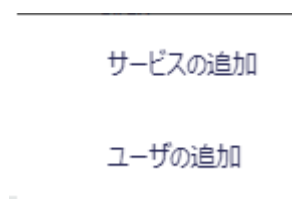


図 4-2 クイックスタートサブメニュー

SSID を 3 つ用意して、各無線（5G（W52,53）、5G(W56)、2.4G）に個別の SSID を指定する例を示します。

### 4.1 SSIDの設定

クイックスタートサブメニューで“サービスの追加”を選択します。図 4-3に示すような SSID の設定画面が表示されます。設定手順を以下に示します。

- 1) “無線サービス名” にサービステンプレート名を入力します。図 4-3に示す例でのサービステンプレート名は“service1”です。複数設定する場合、同名を使用することはできません。
- 2) “SSID” を入力します。図 4-3に示す例での SSID は“test1”です。複数設定する場合、同名を使用することはできません。
- 3) “無線サービス” で“オン” を選択します。
- 4) “認証モード” で“スタティックキー(PSK)” を選択します。図 4-3に示すように“セキュリティモード”と“PSK 鍵”が表示されます。
- 5) “PSK 鍵” で“Passphrase”を選択し、パスワードを入力します。図 4-3に示す例でのパスワードは“12345678”です。“パスワードの確認”にも同じパスワードを入力します。
- 6) “適用” をクリックします。

設定例としてサービステンプレートおよび SSID を 3 つ用意します。

上記手順の (1)、(2) を繰り返し、サービステンプレート名、SSID 名をそれぞれ“service1”・“test1”、“service2”・“test2”、“service3”・“test3”として、同様に設定します。

クイックスタート>サービスの追加

基本設定	認証設定
無線サービス名 *	認証モード
SSID *	<input type="radio"/> オープン(認証なし)
説明	<input checked="" type="radio"/> スタティックキー(PSK)
無線サービス	<input type="radio"/> 802.1X
デフォルトVLAN	<input type="radio"/> 802.1X認証(暗号化なし)
SSIDステルス	<input type="radio"/> スタティックWEP
ユーザインレクション	<input type="checkbox"/> MAC認証
	<input type="checkbox"/> IPv4 Portlet認証
	<input type="checkbox"/> IPv6 Portlet認証
	セキュリティモード
	<input type="radio"/> WPA <input type="radio"/> WPA2 <input checked="" type="radio"/> WPA or WPA2
	PSK鍵 *
	<input checked="" type="radio"/> Passphrase <input type="radio"/> Rawkey
	***** (8-63 アルファベット文字)
	***** パスワードの確認

高度な設定と適用 適用

図 4-3 SSID の設定画面

## 目次

<b>5章 ワイヤレス構成メニュー .....</b>	<b>5-1</b>
5.1 AP管理 .....	5-1
5.1.1 APとSSIDの関連づけ .....	5-1
5.1.2 設定の確認 .....	5-2

## 5章 ワイヤレス構成メニュー

### 5.1 AP管理

#### 5.1.1 AP と SSID の関連づけ

ワイヤレス構成サブメニューで“WLAN サービスのバインド”を選択します。図 5-1に示すような SSID 設定画面が表示されます。

“クイックスタートメニュー”の“サービスの追加”で設定した SSID を AP に関連づけます。

- 1) “AP” が選択されていることを確認します。
- 2) ▼をクリックします。図 5-2に示すように、“クイックスタートメニュー”の“サービスの追加”で設定した SSID が表示されます。使用したい SSID を選択します。
- 3) ⊕をクリックし、AP と SSID を関連づけます。図 5-3の①に示す状態になったことを確認します。図 5-3の②の状態では関連づけが反映されません。
- 4) “適用”をクリックします。

ワイヤレス構成 > APの管理 > WLANサービスのバインド

ラジオに無線サービスをバインドする

WLANサービスをラジオにバインドする。5GHz(1)

WLANサービスのバインド

WLANサービスをラジオにバインドする。2.4GHz(2)

WLANサービスのバインド

過負荷状態の5GHz無線のSSIDを非表示にする

状態 ☒ 有効 ☐ 無効

セッションしきい値  (1-120, デフォルト値 : 5)

セッションギャップしきい値  (1-24, デフォルト値 : 4)

クライアントをログオフする  ☐ 有効 ☒ 無効

図 5-1 SSID 設定画面 1

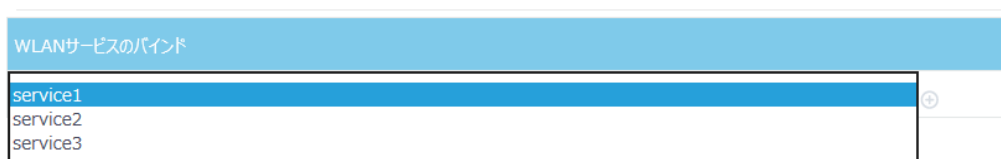


図 5-2 サービステンプレートの選択



図 5-3 SSID 設定画面 2

### 5.1.2 設定の確認

ワイヤレス構成サブメニューで“無線サービスの設定”を選択します。図 5-4に示すような WLAN サービスリストが表示されます。確認したい WLAN サービスの \*\*\* をクリックします。図 5-5に示すような設定確認画面が表示されます。

“AP へのバインド”の項目で関連づけの設定を確認できます。

“戻る”をクリックすると AP 情報表示画面に戻ります。

ワイヤレス構成 > ワイヤレスサービス > 無線サービスの設定

WLANサービス	SSID	ステータス	認証モード	暗号スイート	デフォルトVLAN	アクション
<input type="checkbox"/> service1	test1	● オフ	オープン		1	*** 設定 削除
<input type="checkbox"/> service2	test2	● オフ	オープン		1	*** 設定 削除
<input type="checkbox"/> service3	test3	● オフ	オープン		1	*** 設定 削除

図 5-4 WLAN サービスリスト表示

ワイヤレス構成 > ワイヤレスサービス > 無線サービスの設定 > WLANサービスの表示

WLANサービス	service1	セキュリティタイプ	オープン(認証なし)
SSID	test1	許可の無視	無効
説明		侵入防御	無効
WLANサービスステータス	無効	TKIP_CMS時間	0 秒
デフォルトVLAN	1	PTK ライフ時間	43200 秒
SSID非表示	無効	GTK Rekey	無効
ユーザインルーション	無効	GTK ユーザダウンスステータス	無効
最大クライアント数		GTK Rekeyモード	時間に基づきます。
クイックアソシエーション	有効	更新時間	86400 秒
高速遷移ステータス	無効	アクセス制御	ACLベース
			ACL番号

IPv4のEAP/PEAP

AP名	ラフオ
fatap	SGHz(1)

1/1

設定

図 5-5 設定確認画面

## 目次

<b>6章 ネットワーク構成メニュー .....</b>	<b>6-1</b>
6.1 インタフェースの設定、表示 .....	6-2
6.1.1 インタフェースの設定、表示 .....	6-2
6.2 リンクの設定、表示 .....	6-7
6.2.1 VLANの設定、表示 .....	6-7
6.3 ルーティングの設定、表示 .....	6-11
6.3.1 ルーティングテーブルの設定、表示 .....	6-11
6.3.2 スタティックルーティングの設定、表示 .....	6-13
6.4 ネットワークサービスの設定、表示 .....	6-16
6.4.1 IPの設定、表示 .....	6-16

## 6章 ネットワーク構成メニュー

図 6-1 図 6-1に示す“ネットワーク構成”をクリックします。

図 6-2に示すようなネットワーク構成サブメニューが表示されます。



図 6-1 ネットワーク構成メニューの選択

ネットワークインタフェース	インタフェース	リンクアグリゲーション	PPPoE			
リンク	VLAN	MAC	STP			
ネットワークルーティング	ルーティングテーブル	スタティックルーティング				
IP	NAT	IP	ARP	IPv4 DNS		
IPv6	IPv6	ND	IPv6 DNS			
マルチキャスト	IGMPSnooping	MLDSnooping				
マネージメントプロトコル	DHCP	HTTP/HTTPS	Telnet	SSH	NTP	LLDP


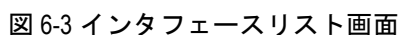
図 6-2 ネットワーク構成サブメニュー



ipv6 は QX-W610 はサポートしていません。


### 6.1.1 インタフェースの設定、表示

ネットワーク構成サブメニューで“ネットワークインタフェース”を選択します。図 6-3 に示すようなインタフェースのリストが表示されます。“すべてのインタフェース”でインタフェースの種類を選択することができます。

 をクリックすると、インタフェース情報の更新を行います。

## II. インタフェースの検索

インタフェースを検索することができます。インタフェースのリスト画面で、GE1/0/1 など検索したい項目を“検索”に入力します。

インタフェースのリスト画面で  をクリックすることで、インタフェースの高度な検索を行うことができます。図 6-4にインタフェースの高度な検索画面を表示します。

- 1) “インタフェース”、“ステータス”、“IP アドレス”、“速度 (Kbps)”、“通信モード”、“説明”を選択、入力します。
- 2) “検索”をクリックします。

高度な検索

インタフェース

ステータス

IPアドレス

速度(Kbps)

通信モード

説明


Q検索

リセット

閉じる

図 6-4 インタフェースの高度な検索

## III. インタフェースの設定

 をクリックするとインタフェースの設定を行うことができます。図 6-5にインタフェースの設定画面を表示します。

“インタフェース”をクリックすると、インタフェースリスト画面に戻ります。

- 1) “ステータス”、“説明”、“MAC アドレス”、“リンクタイプ”、“PVID”、“リンク速度”、“デュプレックス”、“帯域幅”、“リンクモード”、“ジャンボフレーム”、“BPDU イン

ターセプト”、“フロー制御”、“ブロードキャストの抑制”、“マルチキャスト抑制”、“unknown ユニキャストの抑制”を選択、入力します。

2) 設定後、“適用”をクリックします。

システム > ネットワーク構成 > ネットワークインタフェース インタフェース インタフェースを編集

インタフェース

ステータス

説明

MACアドレス

VLAN

リンクタイプ

PVID

リンク速度

デュプレックス

帯域幅

リンクモード

ジャンプフレーム

BPDUIインターセプト

フロー制御

トラフィック抑制

GigabitEthernet1/0/2 (GE1/0/2)

☒ アップ ☐ シャットダウン

GigabitEthernet1/0/2 Interface (1-255文字)

74-EA-C8-FD-BF-D0 (HH-HH-HH-HH-HH-HH)

Access

1

(現在: 1000000Kbps)

Auto

(現在: Full)

Auto

(現在: 1000000Kbit/s)

(1-400000000)Kbit/s

☒ ブラジ ☐ ルート

☐ 無効

☒ 1600 (1600-1600)

☐ BPDUIインターセプトを有効にする

無効

ブロードキャストの抑制

ratio 100

マルチキャスト抑制

ratio 100

unknownユニキャストの抑制

ratio 100


適用 キャンセル

図 6-5 インタフェースの設定


#### IV. インタフェースの統計情報

図 6-3インタフェースリスト画面で“統計”をクリックすると、図 6-6に示すようなインタフェースの統計情報を表示します。

“インタフェース”、“説明”、“受信パケット数”、“受信ユニキャストパケット数”、“ユニキャスト以外の受信パケット数”、“受信破棄パケット数”、“受信エラーパケット数”、“未知プロトコルの受信パケット数”、“受信レート(MB/s)”、“送信パケット数”、“送信ユニキャストパケット数”、“ユニキャスト以外の送信パケット数”、“送信破棄パケット数”、“送信エラーパケット数”、“送信レート(MB/s)”、“最新の消去時間”の情報を表示することができます。

インタフェースの統計情報画面でをクリックし、表示する情報を選択します。デフォルトで“インタフェース”、“説明”、“受信ユニキャストパケット数”、“ユニキャスト以外の受信パケット数”、“受信破棄パケット数”、“受信レート(MB/s)”、“送信ユニキャストパケット数”、“ユニキャスト以外の送信パケット数”、“送信破棄パケット数”、“送信レート(MB/s)”の情報を表示します。

“ネットワークインタフェース”をクリックすると、インタフェースリスト画面に戻ります。

をクリックすると、インタフェース統計情報の更新を行います。

ネットワーク構成: ネットワークインタフェース > インタフェース

	インタフェ...	説明	受信ユニ...	ユニキャスト...	受信破棄パ...	受信レート(...	送信ユニキャスト...	ユニキャスト...	送信破棄パ...	送信レート(...	アクション
<input type="checkbox"/>	NULLO	NULLO I...	0		0	0	0		0	0	
<input type="checkbox"/>	WLAN-R...	WLAN-R...	0	0	0	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	WLAN-R...	WLAN-R...	0	0	0	0	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	Vlan1	Vlan-int...	0	0	0	0.001	0	0	0	0	
<input type="checkbox"/>	GE1/0/1	GigabitE...	13040	62790	0	0.002	16926	12	0	0.006	

図 6-6 インタフェースの統計情報

## V. インタフェースの統計情報の検索

インタフェースの統計情報を検索することができます。インタフェースの統計情報画面で検索したいインタフェースを“検索”に入力します。


をクリックすることで、インタフェースの高度な検索を行うことができます。“インタフェース”、“説明”、“受信パケット数”、“受信ユニキャストパケット数”、“ユニキャスト以外の受信パケット数”、“受信破棄パケット数”、“受信エラーパケット数”、“未知プロトコルの受信パケット数”、“受信レート(MB/s)”、“送信パケット数”、“送信ユニキャストパケット数”、“ユニキャスト以外の送信パケット数”、“送信破棄パケット数”、“送信エラーパケット数”、“送信レート(MB/s)”、“最新の消去時間”を選択します。“検索”をクリックします。

図 6-7にインタフェースの統計情報の高度な検索画面を表示します。


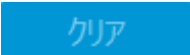
高度な検索

インタフェース	<input type="text"/>
説明	<input type="text"/>
受信パケット数	<input type="text"/>
受信ユニキャストパケット数	<input type="text"/>
ユニキャスト以外の受信パケット数	<input type="text"/>
受信破棄パケット数	<input type="text"/>
受信エラーパケット数	<input type="text"/>
未知プロトコルの受信パケット数	<input type="text"/>
受信レート(MB/s)	<input type="text"/>
送信パケット数	<input type="text"/>
...	<input type="text"/>

Q検索 リセット 閉じる

図 6-7 インタフェースの統計情報の高度な検索

## VI. インタフェースの統計情報の削除

インタフェースの  をクリックし、  をクリックするとすべてのインタフェースの統計情報を 0 にします。


インタフェースの統計情報画面で  をクリックすると指定したインタフェースの統計情報を 0 にします。

図 6-8 に示すような確認ダイアログが表示されます。“はい” をクリックします。

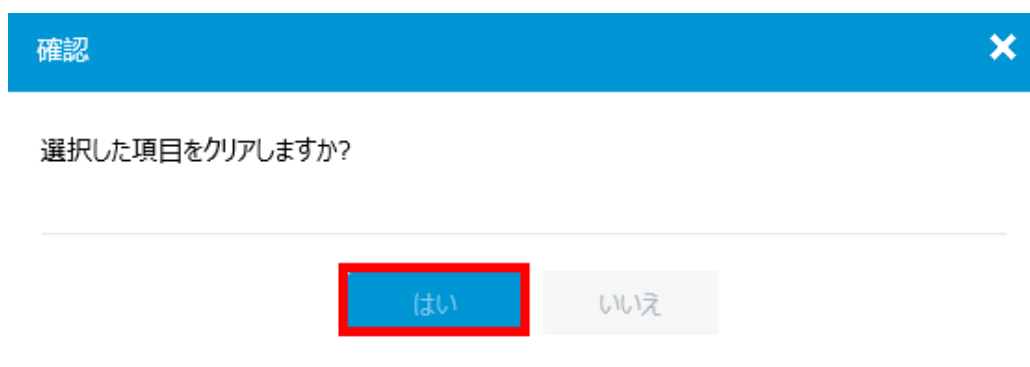


図 6-8 インタフェースの統計情報の削除

## 6.2 リンクの設定、表示

### 6.2.1 VLAN の設定、表示

#### 1. VLAN の表示

ネットワーク構成サブメニューで“VLAN”を選択します。VLAN リストが表示されます。

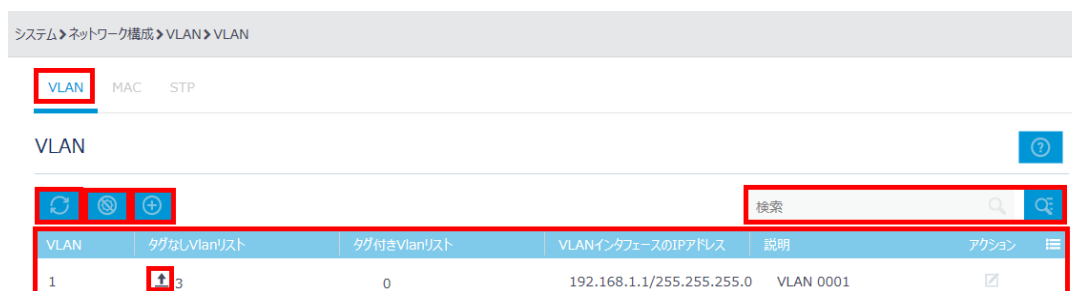





図 6-9 VLAN リストの表示

VLAN にポートが割り当てられている場合、ポートリストに  が表示されます。 をクリックすると該当するポートが表示されます。図 6-10にタグなし VLAN リストを表示します。

VLAN リストで  をクリックすると、VLAN 情報の更新を行います。


VLAN	タグなしVlanリスト	タグ付きVlanリスト	VLANインタフェースのIPアドレス	説明	アクション
1	 3	0	192.168.1.1/255.255.255.0	VLAN 0001	
	GigabitEthernet1/0/1				
	GigabitEthernet1/0/2				
	Bridge-Aggregation1				

図 6-10 タグなし VLAN リスト

## II. VLAN の検索

VLAN を検索できます。VLAN リストで検索したい項目を“検索”に入力します。



をクリックすることで、VLAN の高度な検索を行うことができます。“VLAN”、“タグなし Vlan リスト”、“タグ付き Vlan リスト”、“VLAN インタフェースの IP アドレス”、“説明”を入力します。“検索”をクリックします。図 6-11に VLAN の高度な検索画面を表示します。

高度な検索

VLAN

タグなしVlanリスト

タグ付きVlanリスト

VLANインタフェースのIPアドレス

説明

Q検索

リセット

閉じる

図 6-11 VLAN の高度な検索

## III. VLAN の削除



VLAN リストで をクリックすると VLAN を削除します。図 6-12に示すように削除する VLAN を指定し、“適用”をクリックします。



VLAN の行から削除することもできます。 をクリックすると指定した VLAN を削除します。図 6-13に示すような確認ダイアログが表示されます。



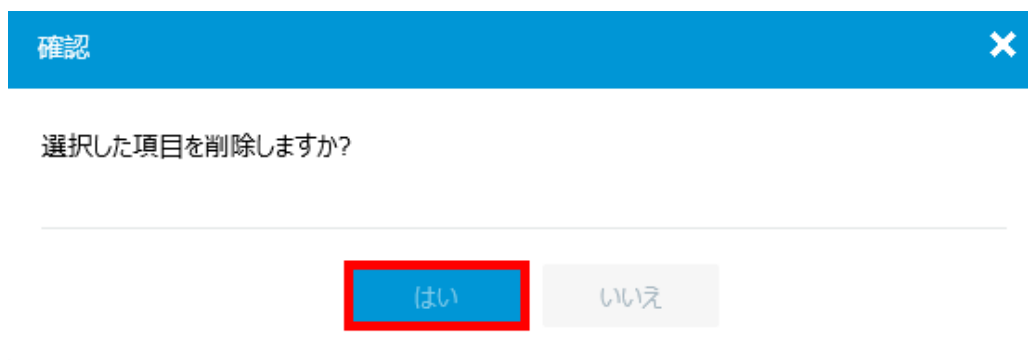
VLANリストの削除

VLANリスト \*

(2-4094、例:3,5,10-100)

適用 キャンセル

図 6-12 VLAN の削除



確認

選択した項目を削除しますか?

はい いいえ

図 6-13 指定 VLAN の削除

#### IV. VLAN の追加

VLAN リストで  をクリックすると、VLAN を作成します。図 6-14に示すように追加する VLAN を指定し、“適用” をクリックします。





図 6-14 VLAN の追加

## V. VLAN の変更


 をクリックすると VLAN の編集を行うことができます。図 6-15に VLAN の変更画面を表示します。



図 6-15 VLAN の変更画面

## VI. VLAN の説明の設定

図 6-15に示すように VLAN の変更画面で VLAN の説明を“説明“に入力します。”適用“をクリックします。

## VII. VLAN インタフェースの IP アドレスの設定

図 6-15に示すように VLAN の変更画面で“VLAN インタフェースの作成”を選択します。

“IPv4 アドレス/マスク” に IP アドレス、マスクを入力します。

“適用 “をクリックします。

## 6.3 ルーティングの設定、表示

### 6.3.1 ルーティングテーブルの設定、表示

#### I. ルーティングテーブルの表示

ネットワーク構成サブメニューで“ネットワークルーティング”を選択します。“ルーティングテーブル”をクリックします。図 6-16に示すように、ルーティングテーブルの数が表示されます。

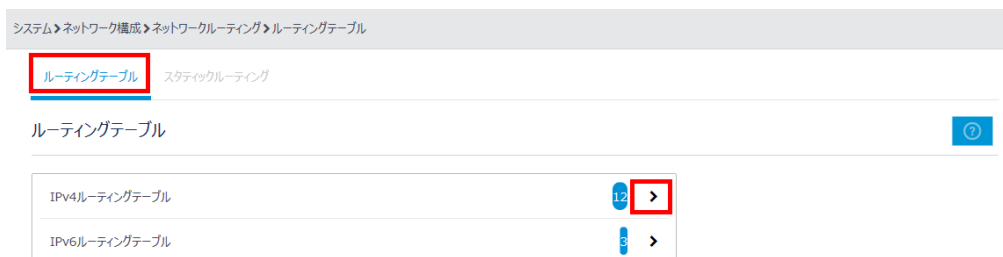



図 6-16 ルーティングテーブルの数

“IPv4 ルーティングテーブル”のをクリックすると、図 6-17に示すようなルーティングテーブルが表示されます。

IPv4ルーティングテーブル 統計






宛先 ▲	マスク長	プロトコル	プリファレンス	ネクストホップ	インタフェース	
0.0.0.0	32	Direct	0	127.0.0.1	InLoop0	
127.0.0.0	8	Direct	0	127.0.0.1	InLoop0	
127.0.0.0	32	Direct	0	127.0.0.1	InLoop0	
127.0.0.1	32	Direct	0	127.0.0.1	InLoop0	
127.255.255.255	32	Direct	0	127.0.0.1	InLoop0	
192.168.1.0	24	Direct	0	192.168.1.1	Vlan1	
192.168.1.0	32	Direct	0	192.168.1.1	Vlan1	
192.168.1.1	32	Direct	0	127.0.0.1	InLoop0	
192.168.1.255	32	Direct	0	192.168.1.1	Vlan1	
224.0.0.0	4	Direct	0	0.0.0.0	NULL0	
224.0.0.0	24	Direct	0	0.0.0.0	NULL0	
255.255.255.255	32	Direct	0	127.0.0.1	InLoop0	

合計 12 エントリ, 12 一致. ページ 1 / 1 .




図 6-17 ルーティングテーブル

ルーティングテーブルで  をクリックすると、ルーティングテーブル情報の更新を行います。

## II. ルーティングテーブルの検索

ルーティングテーブルを検索することができます。検索したいルーティングテーブルを“検索”に入力します。

 をクリックすることで、ルーティングテーブルの高度な検索を行うことができます。“宛先”、“マスク長”、“プロトコル”、“プリファレンス”、“ネクストホップ”、“インタフェース”を選択、入力します。“検索”をクリックします。図 6-18にルーティングテーブルの高度な検索画面を表示します。

高度な検索

宛先

マスク長

プロトコル

プリファレンス

ネクストホップ

インタフェース

Q検索

リセット

閉じる

図 6-18 ルーティングテーブルの高度な検索

## 6.3.2 スタティックルーティングの設定、表示

### I. スタティックルーティングの表示

ネットワーク構成サブメニューで“ネットワークルーティング”を選択します。“スタティックルーティング”をクリックします。図 6-19に示すように、スタティックルーティングの数が表示されます。

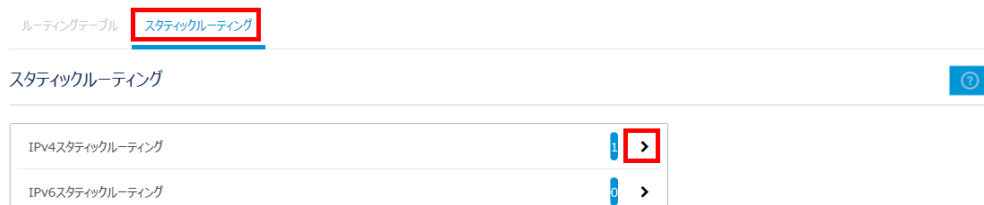


図 6-19 スタティックルーティングの数

“IPv4 スタティックルーティング”のアイコンをクリックすると、図 6-20に示すようなスタティックルーティングのリストを表示します。



図 6-20 スタティックルーティングのリスト

スタティックルーティングのリストでアイコンをクリックすると、スタティックルーティング情報の更新を行います。

### II. ルーティングテーブルの検索

スタティックルーティングを検索することができます。検索したいスタティックルーティングを“検索”に入力します。

アイコンをクリックすることで、ルーティングテーブルの高度な検索を行うことができます。“宛先”、“マスク長”、“プリファレンス”、“ネクストホップ”、“インタフェース”、“タグ”、“説明”を入力します。“検索”をクリックします。図 6-21にスタティックルーティングの高度な検索画面を表示します。

高度な検索

宛先

マスク長

プリファレンス

ネクストホップ

インタフェース

タグ

説明


Q検索

リセット

閉じる

図 6-21 スタティックルーティングの高度な検索

### III. スタティックルーティングの追加

スタティックルーティングでをクリックすると、スタティックルーティングを作成します。

- 1) 図 6-22に示すように“送信先 IP アドレス”、“マスク長”、“ネクストホップ”、“プリファレンス”、“タグ”、“説明”を選択、入力します。
- 2) “適用”をクリックします。

VRF: パブリックネットワーク

送信先IPアドレス \*

マスク長 \* (0-32)

ネクストホップ \* ☐ ネクストホップVRF ☒ 出力インタフェース  
選択

ネクストホップIPアドレス

プリファレンス (1-255)


タグ (0-4294967295,0 (デフォルト))

説明 (1-60文字)

適用 キャンセル

図 6-22 スタティックルーティングの追加

#### IV. スタティックルーティングの削除

スタティックルーティングのリストで  をクリックするとスタティックルーティングを削除します。図 6-23に示すような確認ダイアログが表示されます。“はい” をクリックします。

確認

選択した項目を削除しますか?

はい いいえ

図 6-23 スタティックルーティングの削除

## 6.4 ネットワークサービスの設定、表示

ネットワーク構成サブメニューの“ネットワークサービス”を選択します。図 6-24に示すようなネットワークサービスサブメニューが表示されます。

ネットワークインタフェース	インタフェース	リンクアグリゲーション	PPPoE
---------------	---------	-------------	-------

---

リンク	VLAN	MAC	STP
-----	------	-----	-----

---

ネットワークルーティング	ルーティングテーブル	スタティックルーティング
--------------	------------	--------------

---

IP	NAT	IP	ARP	IPv4 DNS
----	-----	----	-----	----------

---

IPv6	IPv6	ND	IPv6 DNS
------	------	----	----------

---

マルチキャスト	IGMPSnooping	MLDSnooping
---------	--------------	-------------

---

マネージメントプロトコル	DHCP	HTTP/HTTPS	Telnet	SSH	NTP	LLDP
--------------	------	------------	--------	-----	-----	------

図 6-24 ネットワークサービスサブメニューの表示

### 6.4.1 IP の設定、表示

#### I. IP の設定、表示

ネットワーク構成サブメニューの“IP”を選択します。図 6-25に示すように、IP のリストが表示されます。

ネットワーク構成 > IP > IP

IP

検索

インタフェース	ステータス	IPアドレス	説明	アクション
<input type="checkbox"/> InLoopBack0	up	~/255.0.0.0	InLoopBack0 Interface	
<input type="checkbox"/> Vlan-interface1	up	192.168.6.30/255.255.255.0	Vlan-interface1 Interface	

図 6-25 IP リストの表示

 をクリックすると、IP リストの更新を行います。

#### II. IP の検索

IP を検索できます。IP リストで検索したい項目を“検索”に入力します。


 をクリックすることで、IP の高度な検索を行うことができます。“インタフェース”、“ステータス”、“IP アドレス”、“説明”を入力します。“検索”をクリックします。図 6-26 に IP の高度な検索画面を表示します。



図 6-26 IP の高度な検索

### III. IP の削除



 をクリックすると指定した IP を削除します。図 6-27に示すような確認ダイアログが表示されます。



図 6-27 指定 IP の削除



#### IV. IP の追加

IP リストで  をクリックすると、IP を作成します。図 6-28に示すように追加する IP を指定し、“適用” をクリックします。

ループバックインタフェースを作成する

インタフェース番号 \*

(0-0)

IPv4アドレス/マスク

/

適用

キャンセル

図 6-28 IP の追加

## 目次

<b>7章 システムメニュー</b> .....	<b>7-1</b>
7.1 システムログ .....	7-2
7.1.1 システムログの表示 .....	7-2
7.1.2 システムログの検索 .....	7-3
7.1.3 システムログの削除 .....	7-4
7.2 ユーザ設定 .....	7-4
7.2.1 ユーザリストの表示 .....	7-4
7.2.2 ユーザリストの検索 .....	7-5
7.2.3 ユーザの編集・削除・追加 .....	7-6
7.3 装置管理 .....	7-8
7.3.1 装置情報、日付と時刻の設定 .....	7-8
7.3.2 設定ファイルの管理 .....	7-10
7.3.3 ソフトウェアのアップグレード .....	7-13
7.3.4 装置の再起動 .....	7-15
7.3.5 装置情報 .....	7-16

## 7章 システムメニュー

図 7-1に示すメニューで“システム”をクリックします。図 7-2に示すようなサブメニューが表示されます。



図 7-1 メニューの選択




図 7-2 サブメニュー


## 7.1 システムログ

### 7.1.1 システムログの表示

サブメニューで“イベントログ”を選択します。図 7-3に示すようなシステムログが表示されます。

“時間”、“レベル”、“説明”をクリックすることで項目ごとにソートすることができます。

 をクリックすると、システムログの更新を行います。

 をクリックするとシステムログの詳細情報を表示することができます。図 7-4にシステムログの詳細情報を表示します。

“適用” をクリックすると、システムログの情報画面に戻ります。

イベントログ

システムログ

統計 ⓘ

検索

時間 レベル 説明 アクション

2019-12-2...	● Informatio...	System restarted -- NEC Comware Software.	...
2019-12-2...	● Error	Physical state on the interface WLAN-Radio1/0/2 changed to up.	...
2019-12-2...	● Error	Physical state on the interface WLAN-Radio1/0/1 changed to up.	...
2019-12-2...	● Error	Physical state on the interface WLAN-Radio1/0/3 changed to up.	...
2019-12-2...	● Informatio...	[APID:1, Radio:3] Channel was changed to 1.	...
2019-12-2...	● Informatio...	[APID:1, Radio:2] Channel was changed to 100.	...
2019-12-2...	● Informatio...	[APID:1, Radio:1] Channel was changed to 52.	...
2019-12-2...	● Notification	Line protocol state on the interface Vlan-interface1 changed to up.	...
2019-12-2...	● Error	Physical state on the interface Vlan-interface1 changed to up.	...
2019-12-2...	● Notification	Line protocol state on the interface GigabitEthernet1/0/1 changed to up.	...
2019-12-2...	● Error	Physical state on the interface GigabitEthernet1/0/1 changed to up.	...

合計 27 エントリ, 27 一致. ページ 1 / 1 .

1 < > >> > ?

図 7-3 システムログ

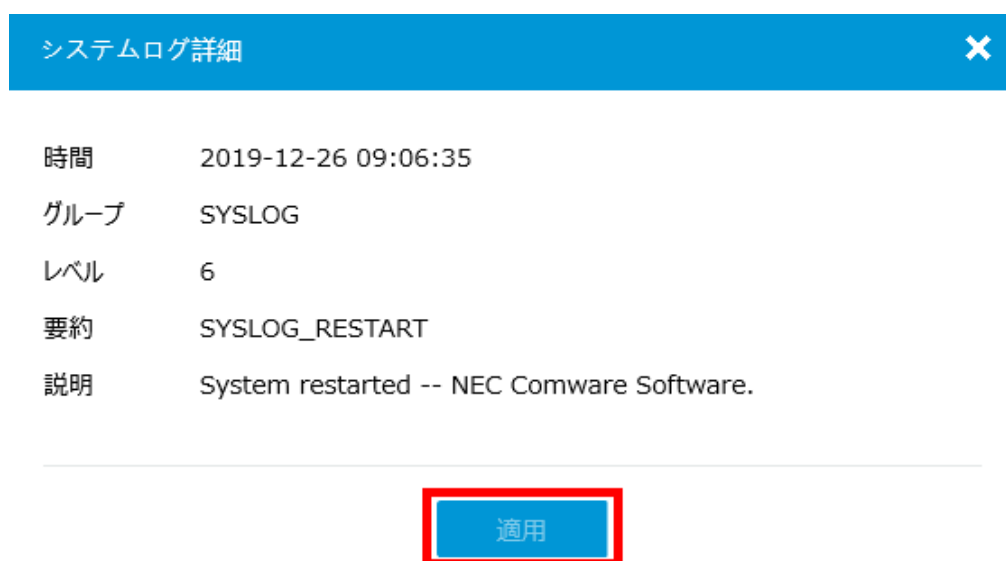



図 7-4 システムログの詳細情報

### 7.1.2 システムログの検索

システムログを検索することができます。システムログ画面で、warning など検索したい項目を“検索”に入力します。

システムログ画面で  をクリックすることで、システムログの高度な検索を行うことができます。“時間”、“レベル”、“説明”を選択、入力します。“検索”をクリックします。図 7-5にインターフェースの高度な検索画面を表示します。

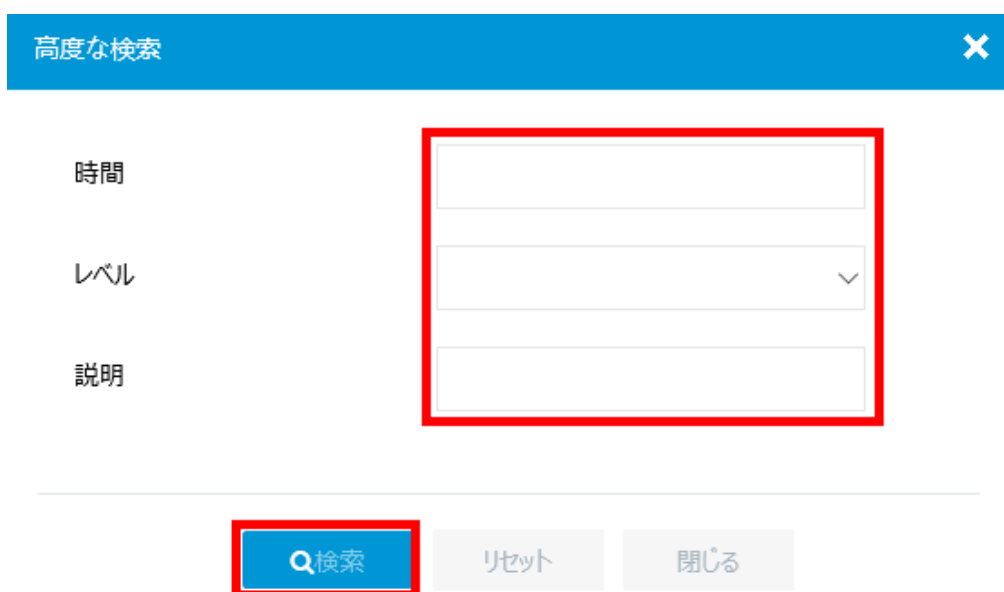


図 7-5 システムログの高度な検索

### 7.1.3 システムログの削除


右上の  をクリックすると全システムログを削除します。図 7-6に示すような確認ダイアログが表示されます。“はい” をクリックします。




図 7-6 全システムログの削除

## 7.2 ユーザ設定

### 7.2.1 ユーザリストの表示

サブメニューで“管理者”を選択します。図 7-7に示すようなユーザリストが表示されます。

ユーザリストでをクリックすると、ユーザリストの更新を行います。

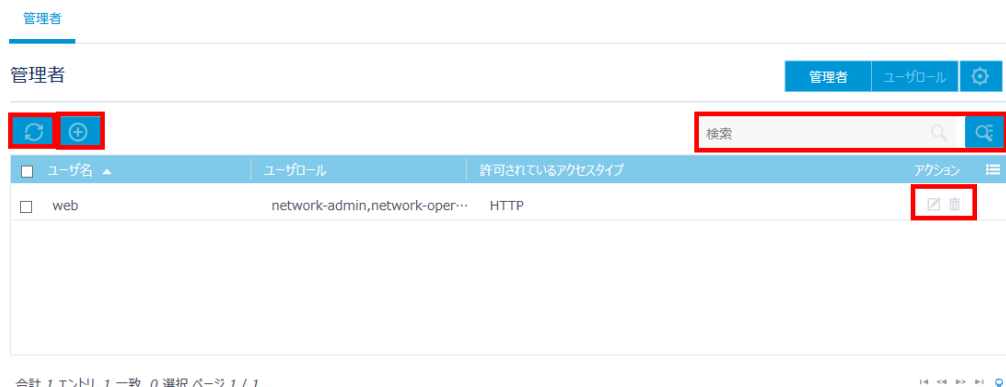


図 7-7 ユーザリストの表示

## 7.2.2 ユーザリストの検索

ユーザを検索することができます。ユーザリストで検索したい項目を“検索”に入力します。

をクリックすることで、ユーザの高度な検索を行うことができます。

- 1) “ユーザ名”、“ユーザロール”、“許可されているアクセスタイプ”を入力します。
- 2) “検索”をクリックします。

図 7-8に管理者の高度な検索画面を表示します。

高度な検索

ユーザ名

ユーザロール

許可されているアクセスタイプ

検索


リセット

閉じる

図 7-8 管理者の高度な検索

## 7.2.3 ユーザの編集・削除・追加

### I. ユーザの編集

編集するユーザのをクリックします。図 7-9に示すような編集画面に移行します。編集したい項目に記入した後、“適用”をクリックします。



The form contains the following fields and controls:


- ユーザ名 \***: Text input with value "web", limit "(1-55文字)".
- パスワード**: Text input, limit "(1-63文字)".
- パスワードの確認**: Text input, limit "(1-63文字)".
- ユーザロール**: Dropdown menu with "選択" (Select) and a list of roles: "network-admin" and "network-operator", each with a delete icon.
- グループ**: Dropdown menu with value "system", limit "x", and a delete icon.
- 許可されているアクセスタイプ**: Checkboxes for Terminal, Telnet, FTP, HTTP (checked), HTTPS, PAD, and SSH.
- 最大同時オンラインユーザ数**: Text input, limit "(1-1024)".
- FTP作業ディレクトリ**: Text input with value "flash:", limit "(1-255文字)".

高度な設定の表示

**適用** (highlighted with a red box) **キャンセル**

図 7-9 ユーザ編集画面

### II. ユーザの削除

削除するユーザのをクリックします。図 7-10に示すような確認ダイアログが表示されます。“はい”をクリックします。



確認

×


選択した項目を削除しますか?

はい

いいえ

図 7-10 ユーザの削除確認ダイアログ

### III. ユーザの追加

ユーザを追加することができます。ユーザリストで  をクリックすると、図 7-11に示す新規ユーザ追加画面に移行します。追加するユーザの情報を記入後、“適用”をクリックします。

ユーザ名 *	<input type="text"/>	(1-55文字)
パスワード	<input type="password"/>	(1-63文字)
パスワードの確認	<input type="password"/>	(1-63文字)
ユーザロール	<div>選択</div>	
グループ	<div>選択</div>	
許可されているアクセスタイプ	<input type="checkbox"/> Terminal <input type="checkbox"/> Telnet <input type="checkbox"/> FTP <input type="checkbox"/> HTTP <input type="checkbox"/> HTTPS <input type="checkbox"/> PAD <input type="checkbox"/> SSH	
最大同時オンラインユーザ数	<input type="text"/>	(1-1024)
FTP作業ディレクトリ	<div>flash:</div> <div></div>	(1-255文字)

高度な設定の表示

適用

キャンセル

図 7-11 新しい管理者追加画面

## 7.3 装置管理

サブメニューで“設定”を選択します。

### 7.3.1 装置情報、日付と時刻の設定

“設定”を選択します。図 7-12に示すような装置情報の設定メニューが表示されます。



図 7-12 装置情報の設定メニュー

#### 1. 装置情報の設定

装置情報の設定メニューの“デバイス情報”の ➤ をクリックすると、図 7-13に示すような装置情報の設定を表示します。

“装置名”を入力し、“適用”をクリックします。

“設定”をクリックすると、装置情報の設定メニュー画面に戻ります。

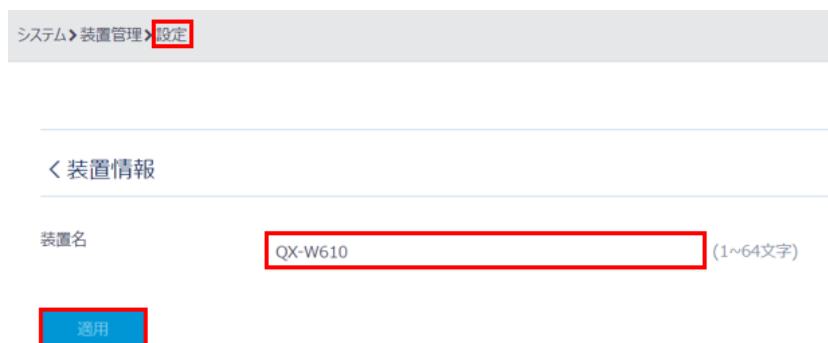





図 7-13 装置情報の設定

## II. 日時の設定

装置情報の設定メニュー“日付と時刻”の  をクリックすると、図 7-14に示すような設定を行います。

“管理”をクリックすると、装置情報の設定メニュー画面に戻ります。

- 1) “日時を設定する”で“時刻を手動で設定する”、あるいは“ネットワーク上の信頼できる時刻ソースと時刻を自動的に同期する”を選択します。
  - 手動で日時を指定する場合、“時刻を手動で設定する”を選択します。日付を設定する場合、 をクリックします。図 7-15に示すようにカレンダー表示で日付を設定することができます。 をクリックし、図 7-16に示すように時刻を設定します。
  - NTP を使用する場合、“ネットワーク上の信頼できる時刻ソースと時刻を自動的に同期する”を選択します。
- 2) “タイムゾーン”で“Tokyo (GMT+09:00)”を選択します。
- 3) “サマータイム”でサマータイムを設定します。
- 4) “適用”をクリックします。

システム > 装置管理 > **設定**

システム時刻

05:49:26  
09/17/2023

日時を設定する

☒ 時刻を手動で設定する

2023-09-17 

05:48:07 

☐ ネットワーク上の信頼できる時刻ソースと時刻を自動的に同期する

タイムゾーン

Lisbon (GMT+00:00) ▼

サマータイム

☐ サマータイムに合わせて時刻を調整する 

**適用**

図 7-14 システムクロックの設定

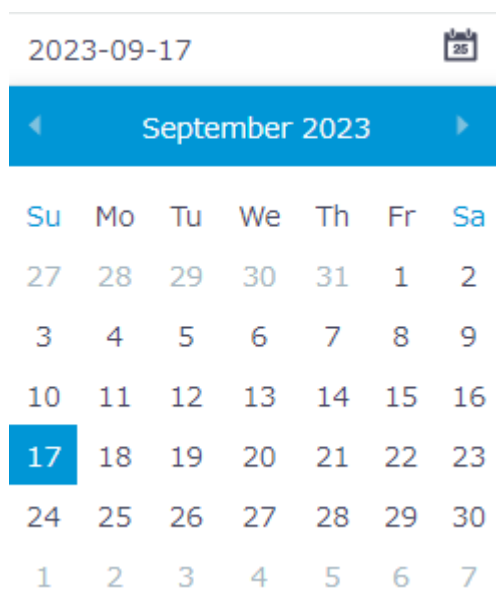


図 7-15 カレンダー表示



図 7-16 時刻の設定

## 7.3.2 設定ファイルの管理


### I. 設定ファイルの管理メニュー

サブメニューで“設定ファイル”を選択します。図 7-17に示すようなコンフィグレーションの管理メニューが表示されます。



図 7-17 コンフィグレーションの管理メニュー

## II. カレントコンフィグレーションの表示

設定ファイルメニューで“ランニングコンフィグレーションの表示”の  をクリックすると、図 7-18に示すようにカレントコンフィグレーションを表示します。

“設定ファイル” をクリックするとコンフィグレーションの管理メニューに戻ります。



図 7-18 カレントコンフィグレーションの表示

## III. カレントコンフィグレーションの保存

設定ファイルメニューで“ランニングコンフィグレーションの保存”をクリックすると、図 7-19に示すように装置のフラッシュメモリにカレントコンフィグレーションを保存します。

保存するファイルを次の起動に使用するコンフィグレーション、あるいはファイル名を指定し、“適用” をクリックします。



図 7-19 カレントコンフィグレーションの保存

#### IV. カレントコンフィグレーションのバックアップ

設定ファイルメニューで“ランニングコンフィグレーションのエクスポート”をクリックすると、図 7-20に示すようにコンフィグレーションファイルの確認ダイアログが表示されます。

- 1) “保存”をクリックします。図 7-21に示すようにダウンロードファイルの処理を促すダイアログが表示されます。
- 2) “フォルダを開く”をクリックします。図 7-22に示すように“startup.cfg”ファイルが保存されたフォルダを表示します。

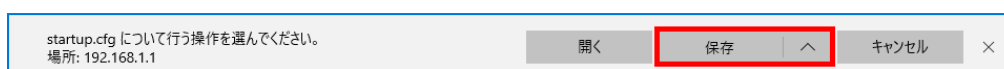


図 7-20 コンフィグレーションファイルの確認ダイアログ

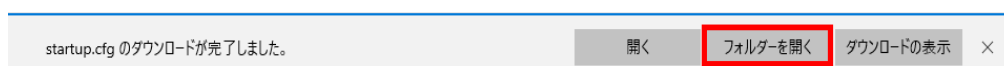


図 7-21 コンフィグレーションファイルの処理ダイアログ

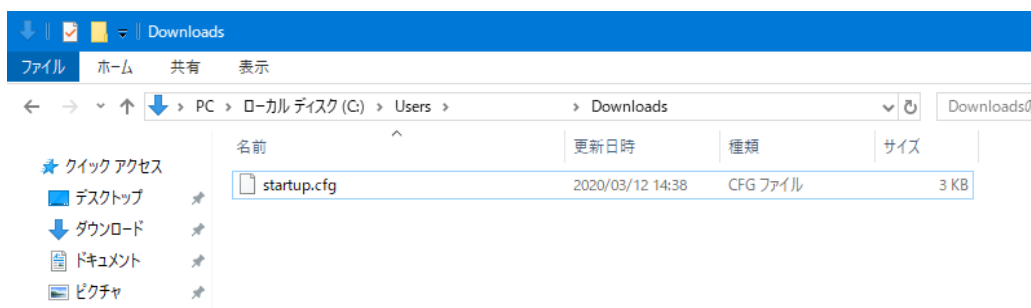


図 7-22 ダウンロードフォルダ

## V. コンフィグレーションファイルの復元

コンフィグレーションの管理メニューで“コンフィグレーションのインポート”をクリックすると、図 7-23に示すような画面が表示されます。



図 7-23 コンフィグレーションファイルの復元

図 7-24に示すようにコンフィグレーションファイルの選択画面でダウンロードするファイルを選択します。

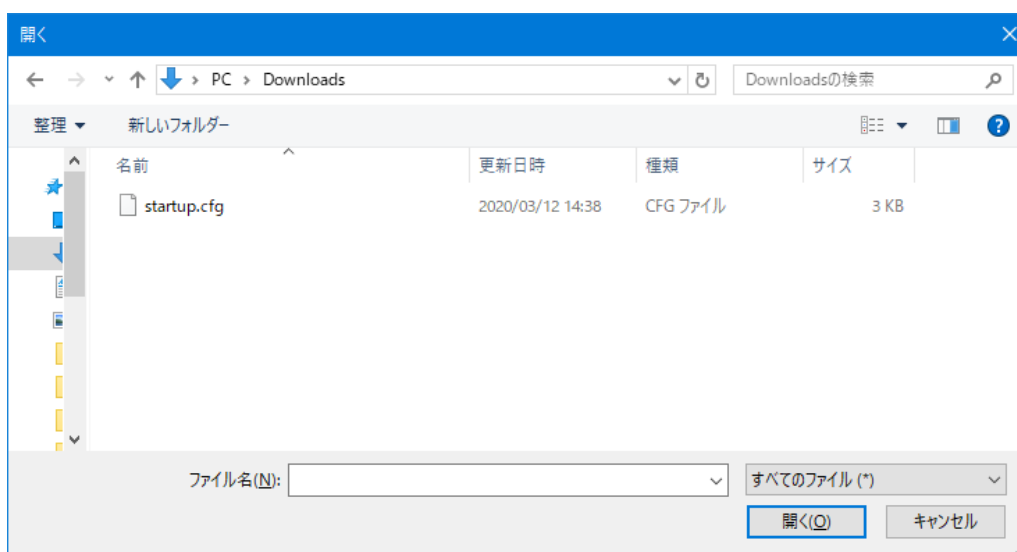


図 7-24 コンフィグレーションファイルの選択

### 7.3.3 ソフトウェアのアップグレード

- 1) サブメニューで“アップグレード”を選択します。図 7-25に示すようなソフトウェアイメージのアップグレード画面が表示されます。




図 7-25 ソフトウェアイメージのアップグレード

- 2) “アップグレード” をクリックすると、図 7-26に示すようなソフトウェアイメージの選択画面が表示されます。



図 7-26 ソフトウェアファイルの選択

- 3) ソフトウェアイメージを参照し、“適用” をクリックすると、ソフトウェアイメージのアップグレードを行います。
- 4) 装置の再起動が行われた後、Web ブラウザから再度ログインしてください。

ソフトウェアイメージのアップグレード画面の“ソフトウェアイメージの表示”でをクリックすると、図 7-27に示すようにフラッシュメモリの現在のソフトウェアイメージを表示します。

“アップグレード” をクリックするとソフトウェアイメージのアップグレード画面に戻ります。





図 7-27 現在のソフトウェアイメージ

### 7.3.4 装置の再起動

- 1) システムサブメニューで“再起動”を選択します。
- 2) 図 7-28に示すような装置の再起動画面が表示されます。“デバイスの再起動”をクリックします。
- 3) 図 7-29に示すような再起動時の確認ダイアログが表示されます。カレントコンフィグレーションを次回の起動に使用するスタートアップコンフィグレーションファイルに保存するため“再起動する前に実行中の構成を保存します。”がチェックされていることを確認します。
- 4) “適用”をクリックします。図 7-30に示すような再起動完了メッセージが表示されます。
- 5) 再度ログインしてください。

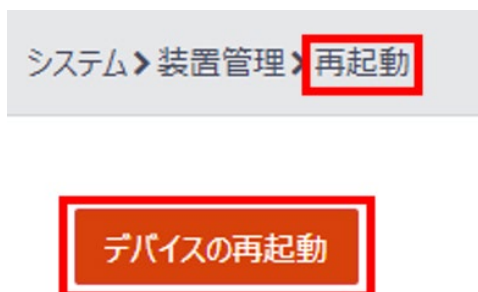


図 7-28 装置の再起動

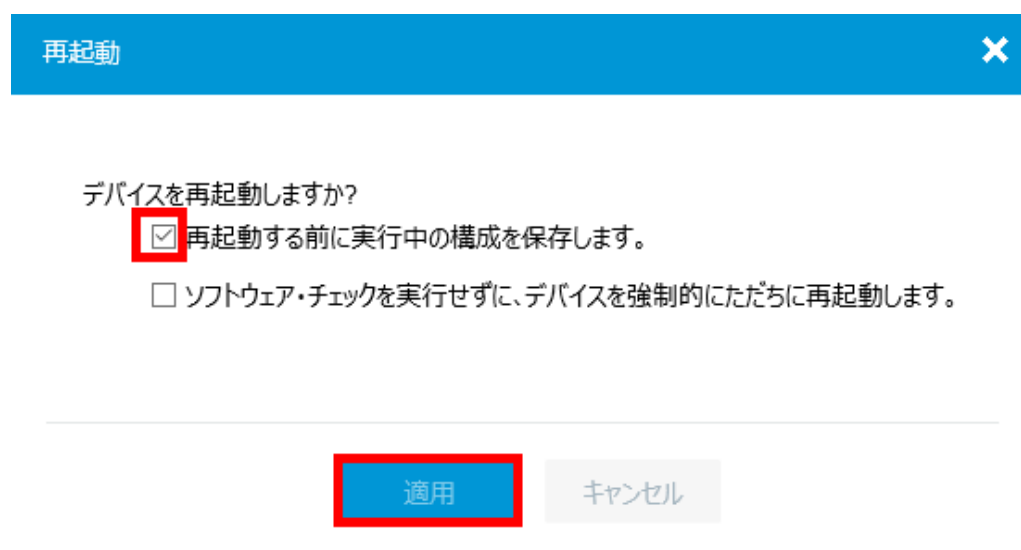


図 7-29 再起動時の確認ダイアログ

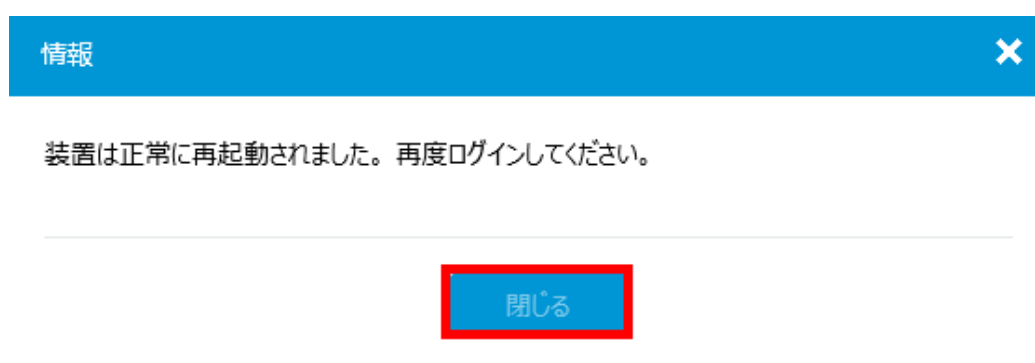


図 7-30 再起動完了メッセージ

### 7.3.5 装置情報


#### 1. 装置情報のメニュー表示

サブメニューで“について”を選択します。図 7-31に示すような装置情報のメニュー画面が表示されます。

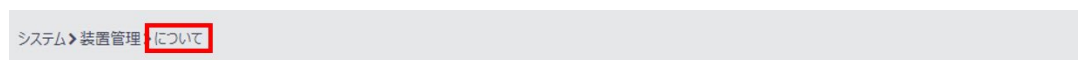


図 7-31 装置情報のメニュー画面

## II. 装置名の表示

“デバイス”の  をクリックします。図 7-32に示すような装置名表示画面に移行します。

“について” をクリックすると装置情報のメニュー画面に戻ります。



デバイス名	QX-W610
シリアル番号	219801A4M1P23500000P
デバイスタイプ	QX-W610

図 7-32 装置名表示画面

## III. 装置バージョンの表示

“バージョン”の  をクリックします。図 7-33に示すような装置バージョン表示画面に移行します。

“装置管理” をクリックすると装置情報のメニュー画面に戻ります。

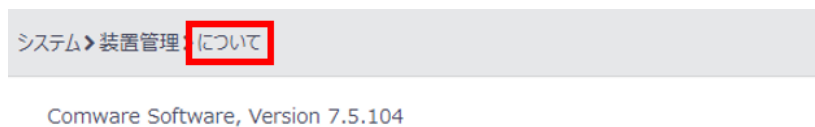


図 7-33 装置バージョン表示画面

## 目次

<b>8章 ツールメニュー .....</b>	<b>8-1</b>
8.1 デバッグ .....	8-1
8.1.1 診断情報の収集 .....	8-1

## 8章 ツールメニュー

図 8-1に示すシステム表示での設定メニューで“ツール”をクリックします。図 8-2に示すようなツールサブメニューが表示されます。



図 8-1 ツールメニューの選択



図 8-2 ツールサブメニュー

### 8.1 デバッグ

#### 8.1.1 診断情報の収集

- 1) ツールサブメニューで“診断”を選択します。
- 2) 図 8-3に示すような診断情報の収集画面が表示されます。“収集”をクリックすると、図 8-4に示すように診断情報の確認ダイアログが表示されます。
- 3) “保存”をクリックします。図 8-5に示すように診断情報の処理を促すダイアログが表示されます。
- 4) “フォルダを開く”をクリックします。図 8-6に示すように診断情報ファイルが保存されたフォルダを表示します。

圧縮されたファイルを展開することで、テキストエディタで診断情報ファイルを表示することができます。

ツール>デバッグ>診断

収集

図 8-3 診断情報の収集

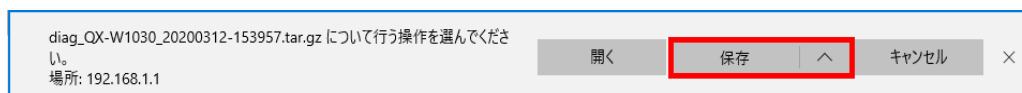


図 8-4 診断情報の確認ダイアログ

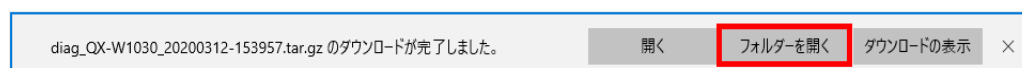


図 8-5 診断情報の処理ダイアログ

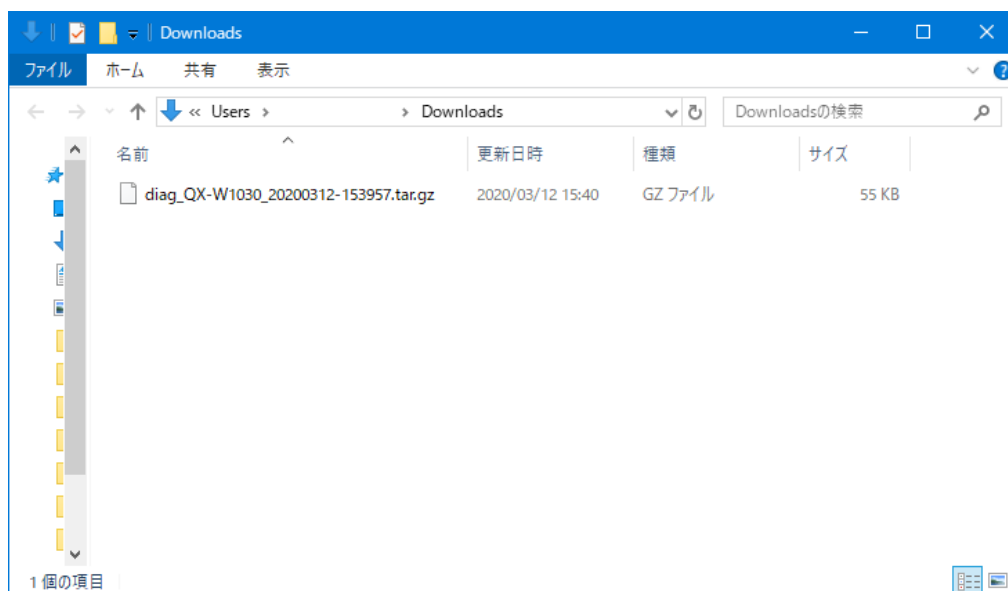


図 8-6 診断情報のダウンロードフォルダ